子どもたちの力を伸ばす 学校掃除セミナー

８月２日に教職員研修の一つとして、学校掃除セミナーを開催しました。このセミナーは、ダスキン暮らしの快適化生活研究所が、社会貢献の一環として無料で行っているセミナーです。

当日は、当初の予定よりたくさんの小・中学校の教職員が参加し、自分たちの日頃の掃除指導を振り返り、より効果的な掃除について、朝から約６時間の研修を行いました。

▼問合せ　学校教育グループ　☎079（435）0545

蓮池小学校

播磨中学校

播磨南小学校

「なぜ、小学校・中学校では掃除の時間が設定してあるのでしょう」

こんな質問からセミナーが始まりました。先生方からは、「自分たちの使っているところは、自分たちで手入れすべき」「自分たちの健康を考えると、掃除をしなければならない」また、「掃除を自分たちで行うことで、子どもたちが協力することを学び、責任をもって取り組もうとする態度が育つのではないか」という意見が出ていました。

掃除時間は、自分たちの使っているところを美しくするだけではなく、「子どもたちの力を伸ばす場」として考えるべきではないかという話し合いが続きました。

「では、学校で子どもたちに掃除を通して、どのような力をつけさせたいと思っているのでしょうか」

参加者からは、次のようなことがあげられました。

- 掃除の仕方（基本的な技術）を習得させる
- 協力する気持ち、コミュニケーション力を育てる
- 計画する（段取りをする）力をつける
- 公共心をもてるようにする
- 達成感をもたせる
- 集中力を養う
- 体力をつける

掃除の基本的な技術を習得させることは、はじめて学校掃除を体験する小学生には不可欠です。現在の家庭ではほうきを使う掃除が減ってきていることもあり、ほうきの持ち方、ほうきを持ったときの体の向き、掃き方を指導する必要があります。また、小さな手で雑巾をしっかり絞るということも必要です。このような細かな指導方法から、楽しく掃除をするための工夫まで系統的な講習を受けることができました。

その中で、特に参加者が熱心に取り組んだのが、**『教師が考える「子どもたちに身につけさせたい力」を、いかに効果的につけさせるか』**ということでした。

まず、グループ（１グループ５〜６人）ごとに作戦会議。机の運び方からごみを掃く順番、それぞれの役割分担に従った効率的な動きなど、細かく計画打ち合わせをしたあと、15分間でグループに任された教室を、一生懸命掃除しました。

35度を超えようかという教室内で、汗だくになりながら…。

この実践を踏まえ、２学期からの各学校での掃除指導についてそれぞれの教職員が、掃除活動計画を立てました

「あーあ、掃除の時間になってしまった。いやだな」という子どもたちの声が、「掃除の時間、楽しいな。きれいになって、気持ちいい」という声に変わるような活動計画ができあがりました。

子どもたちの掃除状況チェック（抜粋）

研修中、25個の掃除状況チェックを行いました。そのうち、ご家庭でも活用できるものを抜粋しました。子どもたちの普段の様子を思い浮かべてみてください。

□ なぜ掃除をする必要があるかを言うことができますか。

□ 汚れに応じて、ぞうきんとほうき（ご家庭なら掃除機）の使い分けができていますか。

□ 床に落ちているゴミを見つけた時、拾ってゴミ箱に捨てていますか。

□ 自分が出したゴミをゴミ箱に捨てていますか。

□ ロッカー（棚）、机の中のものをきちんと並べていますか。